

iPadは持ってないけれど タップハウスも 電子書籍に対応 「夏の断裁祭り」します。



「電子書籍には何の関係もないですが、
「忍びまわり」リスの王様の方がここまで成長しました。



アスクル様、ごめんなさい。アスクル様にはいつもお世話になっているだけで、何の恨みもございません。ただ、背表紙を切る見本になる本がたまたま…。

「電子書籍」ってご存じですか？
いま流行りの、というより、いま流行らせたい人が世界中に「紙を使わない本」のことです。

もうほんと、困ります。
こういうのが流行れば、紙を商売している印刷屋はどうすればいいのですか？
と、印刷会社のタップハウスは思います。

でも、こういう流れがあるとすれば、できる限りついていきたい。いや、ついていかなければ、うきうき浮田しないじゃないですか。

● ということで、弊社タップハ

ウスも、電子書籍に対応します（いえ、したいです）。
その第一弾は、「夏の断裁祭り」。

電子書籍といっても、今、日本で、読める電子書籍ってのはあんまりないですね。

でも、一部では、紙の本をバラバラにしてから、パソコンやiPadで読めるようにしている人がいるそうです。

そこで、タップハウスは、あなたがそんな電子書籍を作る時にお手伝い。

あなたが電子書籍を作るために、本の背表紙を切りたい時は、声をかけてください。

一冊一〇五円（税込）で、ご希望の納期までに、断裁させていただきます。

(税込)
**1冊105円で
あなたの背表紙
ザクッと切らせて
いただきます。**

詳しくは、このかべ新聞前のラックに入れてるDMを見てや。遠慮せんでええ。

どういこうっちゃ。
わいのヒゲも切れてんがな。



印刷も編集も製本も
原稿作成もしています

このビルの
右端の階段から3階へ

このバラバラにしたページから電子書籍(PDF本)を作るのは、五分もかからないくらい。と実感して言えるのも、電子書籍に対応するため、評判のいい専用スキナーを買ったからなのです。

背表紙をこんなふうに切れば、あとは簡単にスキナーに読み込めます。